

令和2年8月26日

島原市長 古川隆三郎 様

島原中心市街地街づくり推進協議会
会長 隈部政博

『島原万町湧水さらく』（パンフレット）完成のご報告

私ども「島原中心市街地街づくり推進協議会」（以下当会）は、噴火後に発足以来、島原の街づくりのことを考えて活動を続けております。

日頃より、当会に対しての深いご理解とご支援に感謝いたしております。

さて、昨年度（平成31年＝令和元年度）の当会活動の成果の一つ『島原万町湧水さらく』（「堀部邸」を中心に掲載したパンフレット）を、改めてご紹介したく、本日ご報告に上がりました。

当会は、島原の街づくりを考える中で、万町に位置する「堀部邸」には長年来関心を寄せておりました。湧水を活かした島原の街づくりの象徴的な建物として、歴史的にも文化財としても貴重な建物と認識しております。

数年前、個人所有だった「堀部邸」が寄贈を受け、島原市の所有になったことで、その保存活用にむけて新たな局面になりました。

当会では、この貴重な歴史遺産を、まずは広く知ってもらい、市民の理解の上で、最善の保存活用を出来ないかと啓発・研究を続けております。

活動の一環の『まちづくり講演会』においては、

- H30・03・11 島原観光ビューローの中村慎次氏に「島原の観光」のお話を伺う際、島原の周遊観光の真ん中に位置する当堀部邸を講演会場に設定
- H30・12・20 伊万里市の早田文昭氏に「リノベーション（古民家の活用）」のお話を伺う際、堀部邸の公開をセットにしました

など、堀部邸にスポットを当て、商店街や島原城下ひなめぐり実行委等とも連携し、様々な機会に公開し、啓発に努めてまいりました。そして昨年度は

- R元・11・26 長崎総合科学大学の山田由香里先生にお願いして、まさに「堀部邸の活用」について、現場で講演会を開催した次第です。

山田先生からは、まずは「登録有形文化財」として登録をして、失敗を恐れず色んな活用をチャレンジしてはどうかと、具体的な事例を含めて助言をいただいたところです。（市の職員からも多く聴講いただきました。）

そして、昨年度はさらに、東京の建築家近藤一郎氏の協力を得て、堀部邸の実地調査をし、このたびのパンフレットの完成に至りました。

近藤一郎氏は、中央公園の設計コンペ（実施設計まで）以来、島原の街づくりには多くの協力を頂いております。

【概要】 A3変形4つ折り カラー 1000部

「堀部邸」の価値を評価

湧水を活用した万町の水文化を紹介

登録有形文化財にふさわしい建物（保存活用すべき）

近藤一郎氏によるイラスト

松尾卓次先生の紹介記事

※パンフレット中、「現時点では非公開」と明示していますが、公開されているものと思い違いして、足を運ぶ観光客がいるかもしれません。一日も早い公開が求められていると思います。

細かい経緯になりますが、当初は、このパンフレットの完成予定稿を使って、『まち巡りイベント』を実施して、参加者の意見を反映し、今年度最初の事業として印刷にかける予定でした。

コロナの影響でイベントが中止となり、そのイベント予算を印刷費に回し、昨年度の完成に早めました。

完成したパンフレットを活用して、今年度もイベント等を企画する予定ですが、コロナ禍の中、思うようにいかず、陽の目を見ない状況が続き、報告が遅れた次第です。

「銀水」も登録有形文化財として認定され、いよいよ「指定管理」で本格活用に移行すると聞き及んでいます。次は「堀部邸」だと、期待しております。

その際にはぜひ、本パンフレットも活用していただき、私どもを計画策定のメンバーに入れていただければと思います。

※イラスト原画をお持ちしました。ゆくゆくは、公開される堀部邸に展示いただければ幸いです。